

## 行政・まちづくり

### ▶(仮称)西大寺南ふれあい公園 来春の一般開放に向け整備

**問** 緑化フェアメイン会場跡地の今後は。

**答** 会場の一部として使用した西大寺南ふれあい公園は、実行委員会が緑化フェアの撤去・復旧工事をしている。この工事の終了後、市は公園と体験学習施設の平成22年春からの一般開放を目指し、再整備する。公園については市民参加で愛称等の制定を行いたい。

また民間活用エリアは「西大寺元気な新拠点」の事業化に取りかかる予定だ。



再整備が進むメイン会場跡地

### ▶緑化フェアの成果

**問** 全国都市緑化おかやまフェアの、①金額ベースでの成果は②収益の扱いは。

**答** ①収支決算は、現在作業中だが、メイン会場の有料入場者数は約18万8,000人で、約6,900万円の収入となる見込みだ  
②年内には収支決算が確定する予定であり、余剰金が生じた場合の扱いは、金額の確定に合わせて関係部署と協議する。

### ▶自転車利用者へ アンケート調査を実施

**問** 自転車政策を立案するために自転車利用者に対する意識調査を行ってはどうか。

**答** 平成21年度中に全市域で放置自転車の実態調査や自転車利用者に対するアンケート調査を実施するなど、歩行者と自転車が安全で安心して共存できる自転車利用環境の整備に向け、市民とともに検討したい。

## 市民生活・福祉

### ▶カーブミラーの設置要望は 各区役所、各支所へ

**問** 政令市となり機構が大きく変わったが、カーブミラーの設置要望はどこにすればよいのか。

**答** 北・中・南の3区役所管内は各区役所の総務・地域振興課で要望を受け付け、維持管理課で設置する。

東区役所管内は維持管理課で受け付け、設置する。

御津、建部、瀬戸地域は各支所の産業建設課が対応する。



今後も、市民に身近な施設として、また保健・福祉・生涯学習の拠点施設として、福祉関係資料の更新や児童図書、生涯学習に関する資料等の充実に努めたい。

多くの市民に利用される図書コーナー

### ▶本庁と各区役所における 防災体制

**問** 災害対策本部が本庁と各区役所に置かれ二重体制となるが、メリットと役割分担は。

**答** 区役所ごとに本部があるため、区域内の災害に集中でき、同時発生 of 災害対応も可能だ。

区本部は現地対応、情報収集、報告等に、本庁本部は各区の情報収集、各区への応援派遣、避難の指示、勧告等の実施及び報道対応や国、県からの情報収集や報告に努める。

### ▶中央図書館との連携で 図書コーナーを充実

**問** ふれあいセンターの図書コーナーの現状と今後の方向は。

**答** 5センター合わせて5万9,000冊の蔵書があり、昨年は26万5,000人の利用があった。利用者の利便を図るため、各センター同士の貸し出し・予約・返却にも対応している。

また、中央図書館の本をふれあいセンターでも貸し出しできるように調整を進めている。